

# 平成23年度事業計画（案）

財団法人農林統計協会は、関係機関のご協力を得て、平成23年度においても本会の目的に則し、以下に掲げる各事業の円滑な推進に努める。なお、本年度からは、吸収合併した全国農林統計協会連合会の事業を引き継ぎ実施する。

## I 広報普及事業

農林水産省が公表する各種統計書及び白書をはじめ、農林水産関連団体が編集する資料並びに研究者・学者の著作に係る学術書を刊行する。

### 1. 出版普及事業

- (1) 農林水産統計に関する「農林水産省統計表」、「ポケット農林水産統計」等の統計書を引き続き刊行し普及するとともに、2010年農林業センサス結果の統計書を刊行する。
- (2) 「食料・農業・農村白書」、「森林・林業白書」及び「水産白書」を刊行する。
- (3) 研究者・学者及び試験研究機関等の著作にかかる農業経済・経営、農業政策、食品産業、フードシステム分野のほか、林業、水産の分野に関する図書を刊行する。また、連合会から継承した農業日誌、ファミリー日誌を刊行し普及する。
- (4) 学会誌「歴史と経済」及び「農業経営研究」を引き続き刊行する。
- (5) 農林水産統計のユーザーを会員とする「全国統計利用者会議」の会員に対して、各種統計書並びに白書を普及するとともに、統計利用について、会員に限らず一般利用者からの統計利用相談に応じ、農林水産統計の利用拡大に努める。

### 2. 事務代行業務及び印刷等業務

#### (1) 事務代行業務

日本農業経済学会、農業情報学会及び日本フードシステム学会の会員管理業務等の代行業務を前年度に引き続き行う。

- (2) 編集・印刷業務も前年度に引き続き実施し、農林水産関係団体等からの受託に努める。

## II 情報・システム開発事業

市場化テストによる調査事業を実施するとともに、2005年農林業センサスデータ等の磁気媒体での提供を行う。また、データ処理事業の受託にも努める。

### 1. 調査事業

「木材価格統計調査（毎月調査）」を引き続き行う。また、平成23年8月まで契約している「内水面漁業生産統計調査」を実施するとともに、引き続き実施が予定されている同事業の受注に努める。

### 2. 磁気媒体による統計の普及事業

前年度に続き2005年農林業センサスの「農業集落カード」、「農業集落地図データ」、「農業経営体調査一覧表」を普及する。

### 3. データ処理事業

農林水産関連団体等から、農林水産統計調査結果に関わる集計・照査・入力、並びにアンケート集計・分析等の受注に努める。

## III 調査事業のための組織整備

本会の事業である、市場化テストを含めた農林水産統計に関する研究及び調査並びに利用普及、啓発及び宣伝を円滑に進めるには、地方との連携が必要・不可欠である。このため、例えば各県に連絡員を配置する等、人的ネットワークを構築する。